エディテージ・グラント2024申請開始迫る

2024年４月１日に、エディテージ助成金プログラム、エディテージ・グラント2024の申請がスタートします。カクタス・コミュニケーションズにより開始され、業績がなく研究費が取りづらい環境にある若手研究者を対象に、2012年の開始以来、全80名の若手研究者の方々に、総額1635万円の研究助成を行ってきました。

エディテージ・グラントには、一般的な私企業による助成金と異なる５つの特徴があります。①分野を問わない、②業績を問わない、③研究予算が少ない人を優先、④助成金の使途を問わない、⑤成果報告義務がない、です。基礎研究を通じて重要な社会課題の解決を目指す若手研究者のための研究スタートアップ資金として、事務手続きを最小限に、可能な限り自由に資金を活用してもらうことを最優先にしたプログラムとなっています。

昨年は５名の方が100万円の大賞助成金を、15名の方が次点の受賞を授与されました。2024年の申請開始に先立ち、昨年の大賞者５名の方々の研究への思いと、未来のヴィジョンを伺いました。

カクタスが自由な研究をサポート

未来の研究ヴィジョン　昨年受賞の若手研究者５氏が語る

木村圭一さん

東京大学大学院　緑地創成学研究室　博士課程学生

研究テーマ「シアノバクテリアによる土地の緑化」

砂漠の表面を形成する「バイオクラスト」は、藻類やコケ類などの微小な生物でできたシート状の構造で、植物と似た生態系機能を持ち、乾燥等の極度の環境でも生育できるため、土地回復に応用できる可能性があります。しかし、活用にむけた課題に、風の影響が挙げられます。光合成の阻害、湿度の除去、および土壌の除去・追加といった風による相乗効果がバイオクラストに及ぼす影響を研究し、より効果的なバイオクラストの利用に向けた検討を行いました。

バイオクラストの可能性に光を当てる

私は土地劣化の修復に興味があります。今は、菌により土壌表面を硬くした場合に、バイオクラストの定着が促進されるかを研究しています。土地の劣化にも様々な要因があるため、降雨と放牧で劣化したエチオピア北部、乾燥と放牧で劣化した中国・モンゴルなどで現地調査をしたこともあります。

この研究を始めたのは、バイオクラストの存在がマイナーに感じたからです。元々環境問題に関心があり、以前は「砂漠に植物を沢山植えたら良いのでは」と至極単純に発想し、現在の研究室へ所属しました。しかし研究する中で、元々緑があった土地を修復することの難しさを学びました。そんな中、微小な生物たちの作り出すバイオクラストのダイナミックな機能に魅力を感じ、突き詰めてみたい、人が利用できるようにしたいと感じたのです。

非専門家に環境学研究の価値を伝えたい

今回の受賞は、自身の研究の価値が伝わり共感してもらえた結果だと感じました。環境問題に関連するからこそ、非専門家を含む多くの人に正しく理解してもらうことが重要です。今回の受賞はその一歩でもあると感じています。今後はバイオクラストを人々や環境に役立つように利用する研究を行いたいと思っています。

中村尚司さん

九州大学大学院　臨床薬物治療学分野　博士課程学生

研究テーマ「造血細胞移植で主要な免疫抑制剤であるタクロリムスの効果の個人差に関する研究」

造血細胞移植で主要な免疫抑制剤であるタクロリムスの効果の個人差に関する研究を行っています。移植治療は血液疾患の最後の砦とも言われますが、その副作用である移植片対宿主病の克服は依然として課題となっています。受賞した研究は、タクロリムスの作用点であるリンパ球における薬物動態の違いに着目して、その免疫抑制作用の個人差を解明することを目的としています。

白血病当事者経験から免疫学研究の道へ

現在の研究をはじめたきっかけは、大学４年生の時に白血病になり、当事者として移植治療を受けたことです。私自身は幸いにも治療が奏功しましたが、同時期に同じ治療を受けた方の中には、厳しい予後を辿る方もいらっしゃいました。その原因を突き詰めて、少しでも今後の移植治療に貢献できればというのが、個人的なモチベーションです。また、治療を通して経験した免疫系の複雑性や意外性も、この分野を選んだ要因のひとつだと思います。

エディテージ・グラントは応募要項から、若手を支援するメッセージや意志がひしひしと伝わってきました。応募の際は、公表されていた審査員の方々が文理多岐にわたっていたので、できるだけ専門用語は避け、図や表を用いるよう心がけました。また、自分が伝えたいことを英語で伝えることの苦労もありましたが、その分学びも多かったです。

臨床と基礎の架け橋になるために

社会人博士課程ですので、臨床業務の傍、業務時間後や休日に研究活動を行っています。臨床で得た疑問を深掘りすることで、新規の研究テーマを考えたり、実際に臨床データをもとに検討したりしています。今後は、臨床と基礎の両軸を往来して、より個別最適化された医療の確立に貢献できるような研究を目指したいです。

藤田綾さん

オックスフォード大学大学院　社会政策介入学研究科　博士課程学生

研究テーマ「低中所得国における難民や国内避難民の子どもたちを対象とした学校ベースの精神保健・心理社会的支援の効果について」

低中所得国における学齢期の難民や国内避難民の子どもたちに対する精神保健・心理社会的支援（MHPSS）の有効性について、系統的レビューおよび22の研究のメタ分析を行いました。その結果、機能障害と心的外傷後ストレス障害の軽減においては有意な効果がみられましたが、うつ病、不安症状、および心的外傷後ストレス症候群の軽減には有意な効果はみられませんでした。

ウガンダの難民支援経験から得た現場の目

普段は、東アフリカにおけるエビデンスに基づく育児政策や介入の立案、開発、評価に関する研究をしています。博士課程の研究は、ウガンダにおける子ども、特に障害児に対する暴力や虐待削減を目的とした育児プログラムの効果の分析をしています。

私がこうした研究をしているのは、現場で経験した課題意識に基づいています。ウガンダで3年間、難民に対する教育・福祉支援を行う中で、難民の子どもたちの心理社会的支援ニーズの見えづらさや測りづらさを感じました。さらに、長引く情勢不安による資金難が原因で難民に対する支援が先細っていく中で、エビデンスに基づいた効果が高い支援を取り入れていく必要性を感じたのがきっかけとなっています。

低所得国の子どもの福祉に影響を与えたい

今後は研究を通して、低所得国における子どもの福祉・家族政策および実践に影響を与えられたらと思っています。脆弱な立場に置かれた子どもたちが抱える課題やニーズが汲み取られ、効果の高い支援が届けられる仕組みづくりに貢献していきたいです。

三好裕之さん

東京大学大学院　情報理工学系研究科　特任研究員

研究テーマ「超撥水性チャネル流の安定性解析」

超撥水表面を持つマイクロチャネルは流体の抵抗を減らすことが可能ですが、不安定性が指摘されています。この不安定性の原因の一つであるガスの拡散を評価する数学的モデリングを提案し、不安定性を簡単に計算する計算手法を複素関数論に基づくアプローチを用いて開発しました。複素関数論を用いることにより、ガスの拡散を具体的な式で記述することが可能になり、不安定性の評価手法を提案しました。

数学科時代に学んだ複素関数論を工学へ応用

イギリスでは数学科に所属し、多重連結領域における複素関数論の理論と数値計算を学んでいました。情報理工学系研究科に移った現在も、実社会への応用の可能性が高い工学の諸問題に対して、複素関数論を用いてアプローチする研究を行っています。元々は、超撥水表面を持つチャネルにおける流れの速度を計算する手法に関して研究していたのですが、超撥水チャネルが不安定になる原因についても興味が湧き、不安定性も上記と同様の数学的アプローチを用いて解決できることに気づいたことが、現在の研究に興味を持ったきっかけとなっています。

これまで修士課程、博士課程と、多重連結領域における複素関数論の研究を行っていきましたが、今後はそれの工学応用を考えて理論の構築を行っていきたいと思っています。また、多重連結領域そのものも数学的には非常に面白く、数多くの発展が見込める分野であるため、より数学的な側面からもアプローチしていきたいです。

新しい理論を見つけた時のワクワクを求めて

研究者の置かれている立場は年々厳しくなっているという声を聞くことが多く、若手の研究者として将来を不安に思うこともあります。ただ、新しい理論を見つけた時のワクワク感は、どのようなことでも置き換えることはできません。日々研究を重ね、サポートしてくださる人たちに恩返しできるよう、また著名な先生に一歩でも近づけるよう、努力を重ねていきたいと思っています。

王婷（WANG TING）さん

北海道大学大学院　地球環境科学研究院　博士研究員

研究テーマ「山岳国立公園における土壌侵食問題を軽減するための必要な管理フレームワーク」

ドローンを活用した3次元マッピングの手法を、山岳国立公園管理者・地元ステークホルダーなどの非研究者に普及することにより、広範囲にわたって登山道・キャンプサイトの荒廃データを効率的・継続的に取得・蓄積する活動を促進しています。山岳国立公園内の土壌侵食問題の削減に必要となる新たな管理枠組みの構築を目的とした研究です。

レクリエーション体験と自然保護の両立を目指して

恵まれた自然環境を保護・保全すると同時に質の良いレクリエーション経験を提供するという2つの役割を果たしている国立公園は、私たち人間のQOLを維持するための欠かせない財産です。しかし、レクリエーション活動は環境に悪影響も及ぼします。適切な管理でその影響を最小限にすることが大きな課題となっています。特に、環境が脆弱でアクセスが悪い高山帯においては喫緊の課題です。

私は山岳国立公園内の登山道・キャンプサイトをメインの調査対象として、UAV（ドローン）やモバイルLiDARなどの先端技術を使って、高精細な3次元マッピングを行っています。登山・野営活動による環境の荒廃問題の把握・モニタリングを通じ、地元ステークホルダーや利用者の意見を考慮した上で、適切な管理対策の作成・改善を促進するような研究を行っています。

利用者や地域を巻き込んだ課題解決へ

この研究分野では、自然科学と社会科学との2つのアプローチから課題の解決に直接貢献できる点に一番惹かれています。今後は多分野・多国間の連携を積極的に図り、国立公園をはじめ世界の山岳型自然保護地域の保護・保全およびその持続可能な利用に貢献できる研究をしていきたいです。

次点受賞者の方々

15名の若手研究者の方々が次点を授与されました。そのうち記名にご了承いただいた14名の方と研究テーマは以下の通りです。

▼吉岡毅さん（京都大学博士課程学生）「職業リハビリテーションへの認知心理学の応用：研究者としての臨床家」
▼中原理沙さん（アイオワ大学博士課程学生）「高等教育の歴史と科学における女性の歴史」
▼土方禎裕さん（新百合ヶ丘総合病院／東京歯科医科大学医療専門家）「全国コホートデータを用いた心血管疾患の傾向に関する研究」
▼譚瀟洋さん（地球環境戦略研究機関（IGES）研究員）「都市緑地インフラ（UGI）を通じた持続可能で強靭な都市への取り組み：統合的な都市樹木をベースにした生態系サービス評価と計画」
▼寺尾俊紀さん（岡山大学病院大学院生）「移植片対宿主病の治療と予防にむけた臨床研究から基礎研究への転換」
▼湯浅大史さん（藤田医科大学博士課程学生）「スフィンゴ糖脂質CD77によるB細胞レセプターシグナル制御機構の解析」
▼大森幸恵さん（九州大学博士課程学生）「乳癌におけるPARP阻害剤耐性の遺伝的決定因子の解明とその克服法の開発」
▼吉原育美さん（順天堂大学浦安病院博士課程学生）「AMP投与による敗血症性筋萎縮の改善と抑制」
▼ゴン・ルイさん（目白大学講師）「スマートフォンが誘発する指軟部組織の反復疲労損傷（RSI）を軽減するIoTデバイス」
▼沼田賢治さん（聖マリアンナ医科大学病院医療専門家）「医療従事者のトピック：救急医療における終末期医療」
▼田原瑠衣さん（宇宙航空研究開発機構（ISAS）研究員）「マイクロCTとナノCTによる小惑星リュウグウ試料の比較研究」
▼内藤千絵さん（シンシナティ小児病院医療センター研究員）「進行性家族性肝内胆汁うっ滞症の病態生理学的検討」
▼シャリファ・ムナワラさん（筑波大学博士課程学生）「AIによる自律走行車の信頼できる衝突システムに向けて」
▼古川彩子さん（東京医科歯科大学大学院生／国立看護大学校老年看護学助教）「看護師の業務環境改善とエンパワメントに関する研究」

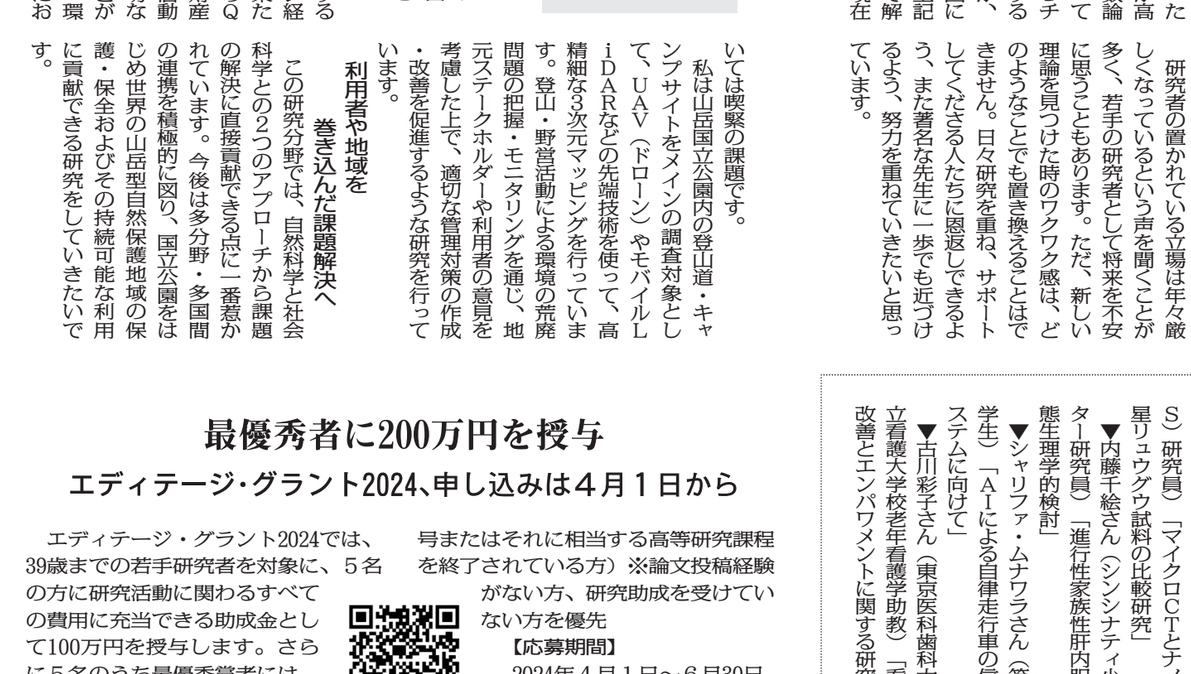
最優秀者に200万円を授与

エディテージ・グラント2024、申し込みは４月１日から

エディテージ・グラント2024では、39歳までの若手研究者を対象に、５名の方に研究活動に関わるすべての費用に充当できる助成金として100万円を授与します。さらに５名のうち最優秀賞者には、追加で100万円、総額200万円の助成金を授与します。

【選考方法】エッセイ・プレゼンテーションの内容を基に評価
【対象】22歳～39歳の研究者（修士号またはそれに相当する高等研究課程を終了されている方）※論文投稿経験がない方、研究助成を受けていない方を優先
【応募期間】
2024年４月１日～６月30日
【書類審査の結果発表】
2024年７月15日

詳細情報と申請はウェブサイトから
www.editage.jp/blog/grant

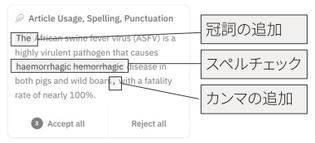


若手研究者向け助成金プログラム
エディテージ・グラント 2024

対象　22歳～39歳の研究者の方
選考方法　応募内容及びプレゼンテーションの内容を基に評価
応募期間　2024年4月1日～2024年6月30日
授賞式　2024年10月

英文校正業界売上２年連続１位
エディテージの研究支援サポートツール

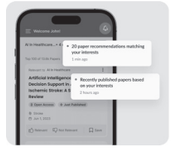
【エディテージウェブサイト】www.editage.jp
【お問い合わせ・ご注文】0120-50-2987 | submissions@editage.com

Paperpal
無料で使える論文執筆支援ツール
エディテージの出版済み校正データを学習させたAIが、英語の論文執筆をリアルタイムサポート。英文校正だけでなく、独自の生成AIが論文執筆作業を効率化させます。
✓英文校正　✓日英翻訳　✓一貫性チェック
✓パラフレーズ　✓文章生成　✓質問　✓同義語提案


ウェブサイト

Mind the GRAPH
効果的な科学イラストを数分で作成
視覚的に研究を伝える科学イラストを簡単作成。
80以上の研究分野をカバーする、
70,000 点以上の科学的に正確なイラストから選べます。
✓300以上の基本テンプレート　✓文字・色などのカスタマイズ
✓オリジナルイラストの作成　✓無料プランあり

ウェブサイト

R Discovery
学術論文発掘アプリ
あなたの興味に合わせて、学術論文、科学雑誌、オープンアクセス論文、査読論文にアクセスして、最新の学術研究の最新情報を入手することができます。
✓おすすめ論文配信・配信　✓論文英日翻訳
✓音声読み上げ（英・日）

Android　iOS